



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マンダム
コード番号 4917 URL <https://www.mandom.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西村 健
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 澤田 正典 TEL 06-6767-5001
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	54,672	9.8	2,203	25.4	2,962	28.3	2,154	52.7
2023年3月期第3四半期	49,772	16.8	1,757	—	2,309	—	1,410	487.5

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 5,587百万円（△18.1%） 2023年3月期第3四半期 6,821百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	47.92	—
2023年3月期第3四半期	31.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	94,327	74,958	72.3
2023年3月期	91,005	71,184	71.6

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 68,197百万円 2023年3月期 65,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,700	8.4	1,460	3.6	2,280	3.3	1,660	73.2	36.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	48,269,212株	2023年3月期	48,269,212株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,300,622株	2023年3月期	3,303,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	44,967,315株	2023年3月期3Q	44,971,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、社会経済活動の正常化が一段と進むなか、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復を見せました。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクになっており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社海外グループの事業エリアであるアジア経済については、東南アジアを中心に景気は概ね堅調に推移した一方で、中国では景気持ち直しの動きに足踏みがみられ経済の先行きが懸念されます。

このような経済状況のもと、当社グループは2027年のありたい姿「VISION2027」実現のための「変革・挑戦」期と位置づけた中期経営計画の経営基本方針に基づき諸施策を推進しております。経営基本方針は次のとおりであります。

経営基本方針

- ・ニューノーマルにおけるカテゴリ戦略の進化・挑戦と
ブランド価値向上を徹底できる全社マーケティング革新
- ・インドネシア事業再生のスピーディな完遂と海外事業のビジネスモデル革新
- ・デジタルイノベーションとオープンイノベーションによる新価値創造企業への転換
- ・サステナブル経営を中核とした企業価値向上とお役立ちの進化

当第3四半期連結累計期間の売上高は、54,672百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。これは主として海外その他における売上高が好調に推移したことによるものであります。

営業利益は2,203百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。これは主として海外その他における売上総利益の増加によるものであります。この結果、経常利益は2,962百万円（同28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,154百万円（同52.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績（売上高は外部顧客への売上高）は次のとおりであります。

日本における売上高は28,636百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。これは新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことなどにより、社会経済活動の正常化が一段と進み、生活者の外出機会が増加したことで、男性事業の「ギャツビー」ブランドや女性事業の「ビフェスタ」ブランドの売上高が好調に推移したことによるものであります。利益面においては、主として新製品へのマーケティング投資に伴う広告宣伝費の増加により、営業利益は573百万円（同26.3%減）となりました。

インドネシアにおける売上高は10,408百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。これは主として女性事業の「PIXY」ブランドおよび男性事業の「ギャツビー」ブランドの売上高が減少したことによるものであります。利益面においては、主として原価率が悪化したことにより、営業損失は986百万円（前年同四半期は335百万円の営業損失）となりました。

海外その他における売上高は15,627百万円（前年同四半期比26.3%増）となりました。これは主としてマレーシアの女性事業をはじめとして東南アジア各国で売上高が増加したことによるものであります。利益面においては、主として売上総利益の増加により、営業利益は2,616百万円（同99.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより94,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,322百万円増加いたしました。負債合計は、流動負債のその他に含まれる未払金が減少したことなどにより19,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円減少いたしました。また、純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより74,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,774百万円増加し、自己資本比率は72.3%（前連結会計年度末は71.6%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,644百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には21,126百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は6,259百万円(前年同四半期は4,064百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,119百万円および減価償却費3,346百万円による増加であります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は1,727百万円(前年同四半期は1,145百万円の支出)となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出3,166百万円および有形固定資産の取得による支出1,089百万円による減少と、定期預金の払戻による収入2,709百万円による増加であります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は2,013百万円(前年同四半期は1,957百万円の支出)となりました。主な内訳は、配当金の支払額1,749百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,493	25,881
受取手形及び売掛金	11,196	10,525
商品及び製品	11,744	12,001
仕掛品	480	490
原材料及び貯蔵品	3,303	3,571
その他	1,362	1,155
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	49,573	53,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,706	15,455
機械装置及び運搬具(純額)	6,188	5,664
その他(純額)	2,563	2,621
有形固定資産合計	24,458	23,741
無形固定資産		
のれん	2,820	2,784
その他	4,061	3,605
無形固定資産合計	6,882	6,390
投資その他の資産		
投資有価証券	8,302	8,788
その他	1,795	1,795
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	10,090	10,576
固定資産合計	41,431	40,708
資産合計	91,005	94,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,632	3,765
短期借入金	142	132
未払法人税等	414	572
賞与引当金	1,085	968
その他の引当金	49	61
その他	8,462	7,147
流動負債合計	13,786	12,647
固定負債		
退職給付に係る負債	2,775	3,252
その他	3,259	3,469
固定負債合計	6,034	6,721
負債合計	19,820	19,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,086	11,084
利益剰余金	47,807	48,208
自己株式	△6,590	△6,583
株主資本合計	63,698	64,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,967	3,857
為替換算調整勘定	△2,701	94
退職給付に係る調整累計額	161	141
その他の包括利益累計額合計	1,426	4,093
非支配株主持分	6,058	6,760
純資産合計	71,184	74,958
負債純資産合計	91,005	94,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	49,772	54,672
売上原価	28,285	31,117
売上総利益	21,487	23,555
販売費及び一般管理費	19,729	21,351
営業利益	1,757	2,203
営業外収益		
受取利息	166	288
受取配当金	80	89
持分法による投資利益	191	344
為替差益	54	—
その他	154	122
営業外収益合計	648	845
営業外費用		
支払利息	15	17
コミットメントフィー	7	7
為替差損	—	36
その他	73	24
営業外費用合計	96	85
経常利益	2,309	2,962
特別利益		
固定資産売却益	6	219
投資有価証券売却益	32	8
特別利益合計	38	228
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	10	70
投資有価証券評価損	—	0
事業構造改善費用	59	—
その他	—	0
特別損失合計	70	71
税金等調整前四半期純利益	2,277	3,119
法人税等	787	967
四半期純利益	1,489	2,152
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	78	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,410	2,154

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,489	2,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	597	△110
為替換算調整勘定	4,510	3,401
退職給付に係る調整額	△44	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	267	155
その他の包括利益合計	5,331	3,434
四半期包括利益	6,821	5,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,717	4,821
非支配株主に係る四半期包括利益	1,103	765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,277	3,119
減価償却費	3,729	3,346
のれん償却額	188	196
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	205	△154
受取利息及び受取配当金	△246	△378
為替差損益 (△は益)	△292	5
持分法による投資損益 (△は益)	△191	△344
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32	△8
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△219
売上債権の増減額 (△は増加)	△522	1,253
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,493	503
仕入債務の増減額 (△は減少)	595	8
未払金の増減額 (△は減少)	△1,021	△1,021
その他	592	715
小計	3,762	7,022
利息及び配当金の受取額	241	361
利息の支払額	△15	△17
事業構造改善費用の支払額	—	△645
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	75	△460
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,064	6,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,042	△3,166
定期預金の払戻による収入	3,045	2,709
有形固定資産の取得による支出	△949	△1,089
無形固定資産の取得による支出	△300	△257
有形固定資産の売却による収入	10	223
投資有価証券の取得による支出	△6	△156
投資有価証券の売却及び償還による収入	101	11
その他	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,145	△1,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△47	△25
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△184	△175
配当金の支払額	△1,664	△1,749
非支配株主への配当金の支払額	△2	△63
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△57	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,957	△2,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,479	1,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,441	3,644
現金及び現金同等物の期首残高	16,015	17,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,456	21,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,843	10,559	12,369	49,772	—	49,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,873	2,934	261	7,069	△7,069	—
計	30,717	13,493	12,631	56,842	△7,069	49,772
セグメント利益 又は損失 (△)	778	△335	1,314	1,757	—	1,757

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,636	10,408	15,627	54,672	—	54,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,911	3,275	249	7,436	△7,436	—
計	32,548	13,684	15,877	62,109	△7,436	54,672
セグメント利益 又は損失 (△)	573	△986	2,616	2,203	—	2,203

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。